

# 参考地図Ⅲ 人口図

## Introductory Map Ⅲ Map of the population distribution

日本言語地図のための調査地点は、日本における人口の分布に対して、どのように散在しているのであろうか。これを鳥瞰するために、日本全土の人口分布地図を示すことにした。桃色で示した小点1個が、概略人口500人にあたる。紺色の二けたの数字は、日本言語地図のための調査地点である。

各調査地点に関してさらに詳しく具体的に知る必要がある場合は、日本言語地図第1集所載の「参考地図1 調査地点番号地図」、および同集別冊「日本言語地図解説—方法—」を参照されたい。

この地図は、総理府統計局の「昭和35年国勢調査市区町村別人口分布図」(縮尺100万分の1)を参考として作った。これは、1960年の国勢調査の結果にもとづいて作図したものである。1960年は、日本言語地図作成のための調査としては、第4年度にあたる。ただし、「昭和35年国勢調査市区町村別人口分布図」は、人口200人を1個で示す小点と、直径によって集落人口を象徴する球形とを併用して表現されている。したがって、そのままをここに転載したわけではない。

この「人口図」作成にあたっては、同じく総理府統計局が作った「昭和25年国勢調査人口分布(人口密度点地図)」(縮尺200万分の1)をも参考とした。この地図は、1個人口500人の小点によつて表現されている。

沖縄の島々に関しては、参照するに適當な人口分布地図を入手できなかったため、人口に関する諸資料にもとづいて、国立国語研究所において独自に作図した。